

# 個人投資家様向け 会社説明会



## カンダホールディングス株式会社

東京証券取引所市場第二部

証券コード：9059

平成29年12月6日

- 一、 私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、  
お客様と共に繁栄します。
- 一、 私達は、和の精神を大切にし、  
社員の生活向上を目指します。
- 一、 私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、 私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。

# 目次

## ■ カンダグループの概要

会社概要	5
会社沿革	6
拠点ネットワーク	7

## ■ 事業の概要

事業の特徴	9
事業概要	10
取扱品目別売上高	11

## ■ 中期経営計画の進捗状況

グループ経営方針	13
連結業績推移（売上高）	14
連結業績推移（営業利益）	15
連結業績推移（経常利益）	16
連結業績推移（当期純利益）	17
平成29年度 経営方針	18

## ■ 株価と配当推移

株価・配当推移	20
株価指標推移	21
株主優待	22

## ■ トピックス

越境EC向けデータ連携サービス	24
新本社ビル建設	25
事業所内保育施設	26
安全と品質への取組み	27



# カンダグループの概要

# 会社概要

商号	カンダホールディングス株式会社
本店	〒101-0061 東京都千代田区東神田3-1-13
本社事務所	〒115-0051 東京都北区浮間4-22-1 PRO-1浮間5階
創業	昭和18年11月
代表者	代表取締役社長 勝又 一俊
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数	連結：2,307名（平成29年9月末日現在）
グループ会社	25社（平成29年9月末日現在）
上場区分	東京証券取引所市場第二部
証券コード	9059

# 会社沿革



昭和18年：発足

自動車交通事業法により東京都神田区内の全運送会社16社が一括統合され発足する

昭和19年：神田運送(株)設立

神田運送株式会社設立 本社：東京都神田区佐久間町 資本金：230万円

昭和20年代：定期路線網の構築

「神田便」の名称で定期便を運行、路線事業開始

当社の呼びかけで全国への出版物流を共同配送化し実施

昭和38年：出版物共配開始

平成3年：カンダコーポレーション(株)へ社名変更

平成6年：日本証券業協会に株式を店頭登録

平成16年：東京証券取引所市場第二部へ株式上場

商号を「カンダホールディングス株式会社」に変更

平成21年：持株会社体制へ移行

「株式会社ペガサスグローバルエクスプレス」業務開始

平成23年：国際宅配部門の事業譲受により

海外拠点として「PGEタイ」・「PGE上海駐在員事務所」を設立

「株式会社ジェイピーエル」をグループ化

「株式会社ハーバーマネジメント」(現PGE)、

平成24年：「カンダ物流株式会社」発足、北関東5拠点を統合

海外拠点として「PGEジャカルタ駐在員事務所」を設立

平成25年：蓮田・南東北・久喜にて太陽光売電事業開始

「ニュースターライン(株)」・「ベルトランス(株)」をグループ化

平成26年：「カンダハーティーサービス株式会社」を設立

「日本物流ネットワーク協力会」(「JLNA」)発足

物流4社による包括的業務提携契約を締結し、

平成27年：海外現地法人「PGEインドネシア」の設立

平成28年：「カンダハーティーサービス(株)」の特例子会社化

「PT. JAPAINDO INTERTRANS PRIMA」をグループ化しPGE1と合併

平成29年：「(株)中村エンタープライズ」をグループ化

## 国際物流へ進出

## 運送業から物流業へ

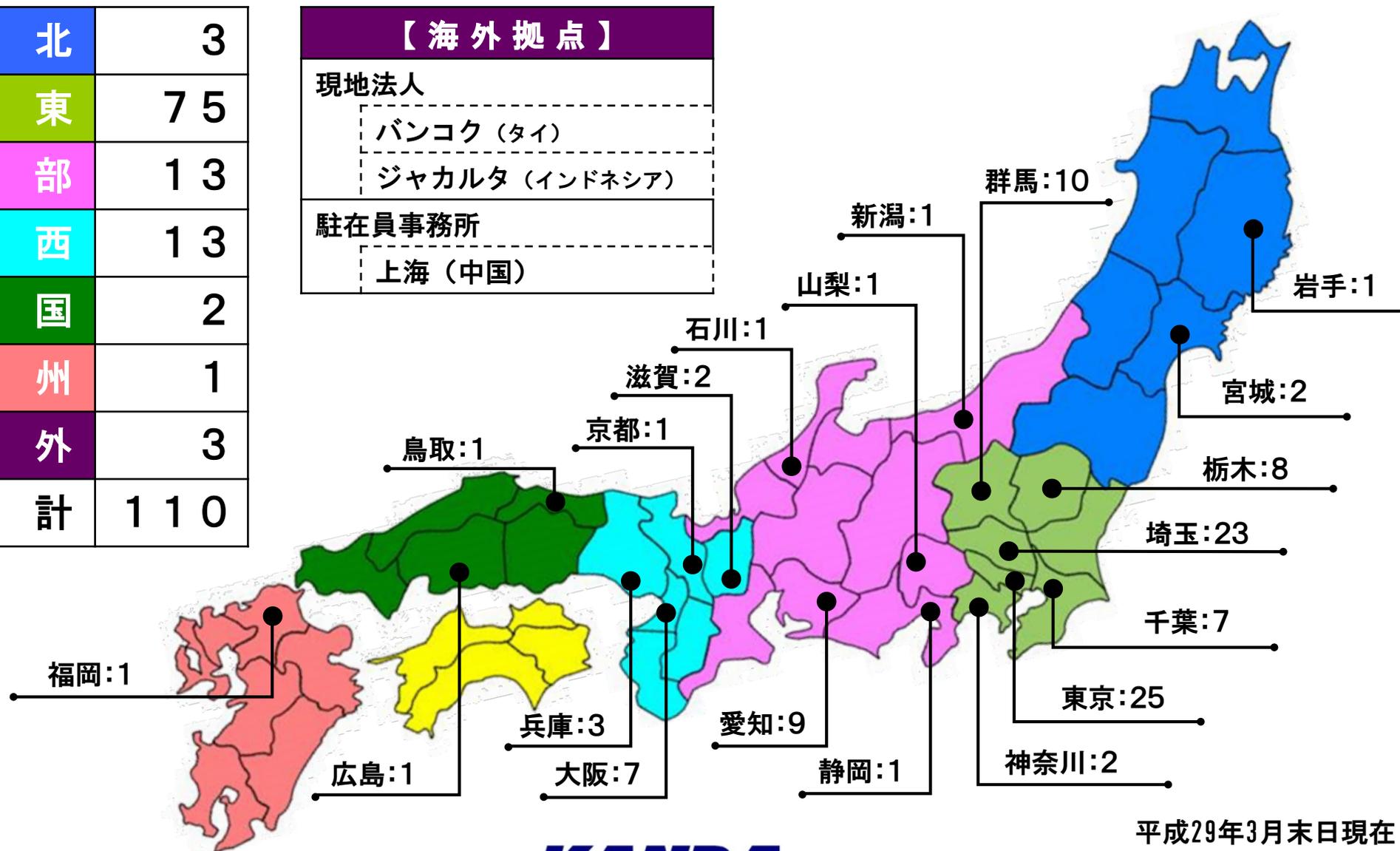


# 拠点ネットワーク

## ■ エリア別事業拠点数

東北	3
関東	75
中部	13
関西	13
中国	2
九州	1
海外	3
合計	110

【海外拠点】	
現地法人	
バンコク (タイ)	
ジャカルタ (インドネシア)	
駐在員事務所	
上海 (中国)	



平成29年3月末日現在

# 事業の概要

# 事業の特徴

## ■カンダグループの4つの強み

1

多種多様な物流サービスを提供できる機能

2

3,500社に及ぶお客様との取引に支えられた裾野の広さ

3

1つの業種・業態、企業に偏らない幅広い営業基盤

4

国内外を一気通貫で結ぶ国際物流ネットワーク

# 事業概要

物流センター  
(在庫型)



物流センター  
(通過型)



データ  
センター



WMS



航空宅配



航空輸送



機密文書  
保管



カンダグループでは、

**3,500社** に及ぶ あらゆる業態のお客様に、

多種多様な物流サービスを御提供しております。

海上輸送



社内メール  
サービス



流通加工



共同配送



警備輸送  
(集配金)



引越し



現地法人



海外赴任  
コンシュルジュ



冷凍冷蔵  
輸送



化学薬品  
輸送



建築資材  
運搬



廃棄物  
収集運搬



介護・介助  
輸送



バイク便

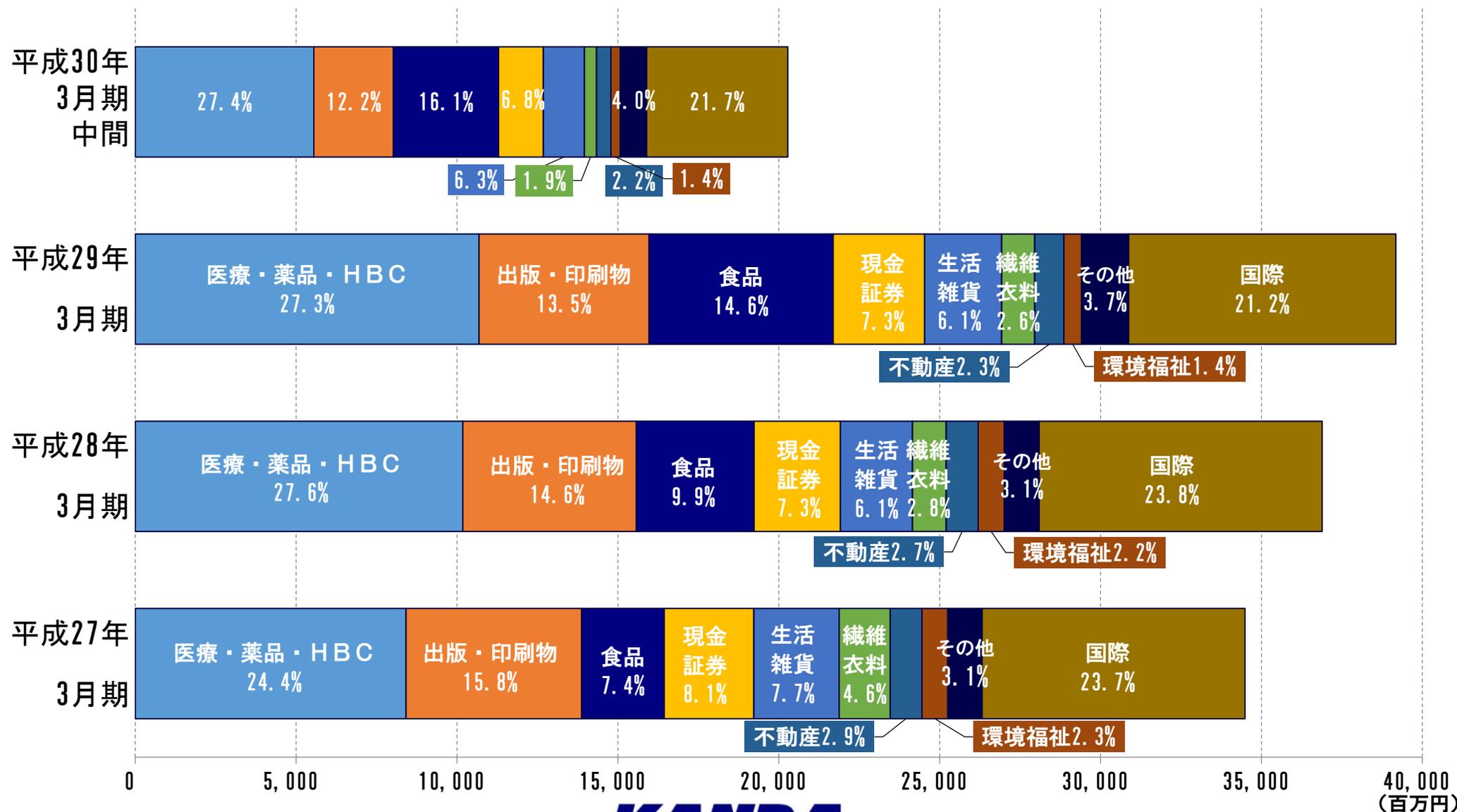


買物代行  
宅配サービス



# 取扱品目別売上高

## ■ 取扱品目別売上高と構成比率



# 中期経営計画の進捗状況

平成28年4月～平成31年3月

## ■スローガン

『LET'S GO 500』

## ■骨子

▲ **業容の拡大** ～売上500億円の達成～

▲ **中部・関西圏の強化**

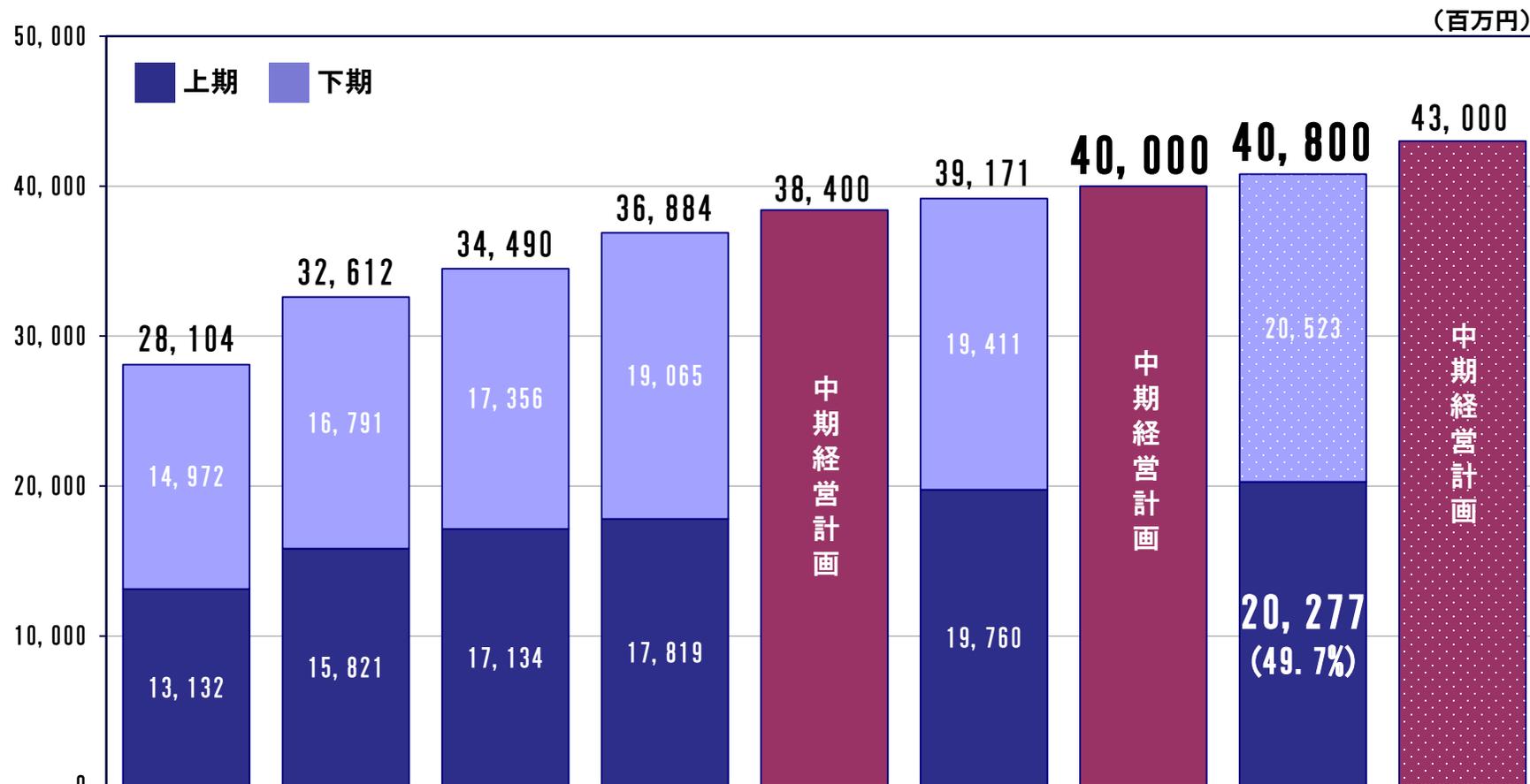
▲ **協力会社の組織化**

▲ **グループ内整備**

▲ **情報システム部門の強化**

# 連結業績推移

## ■売上高

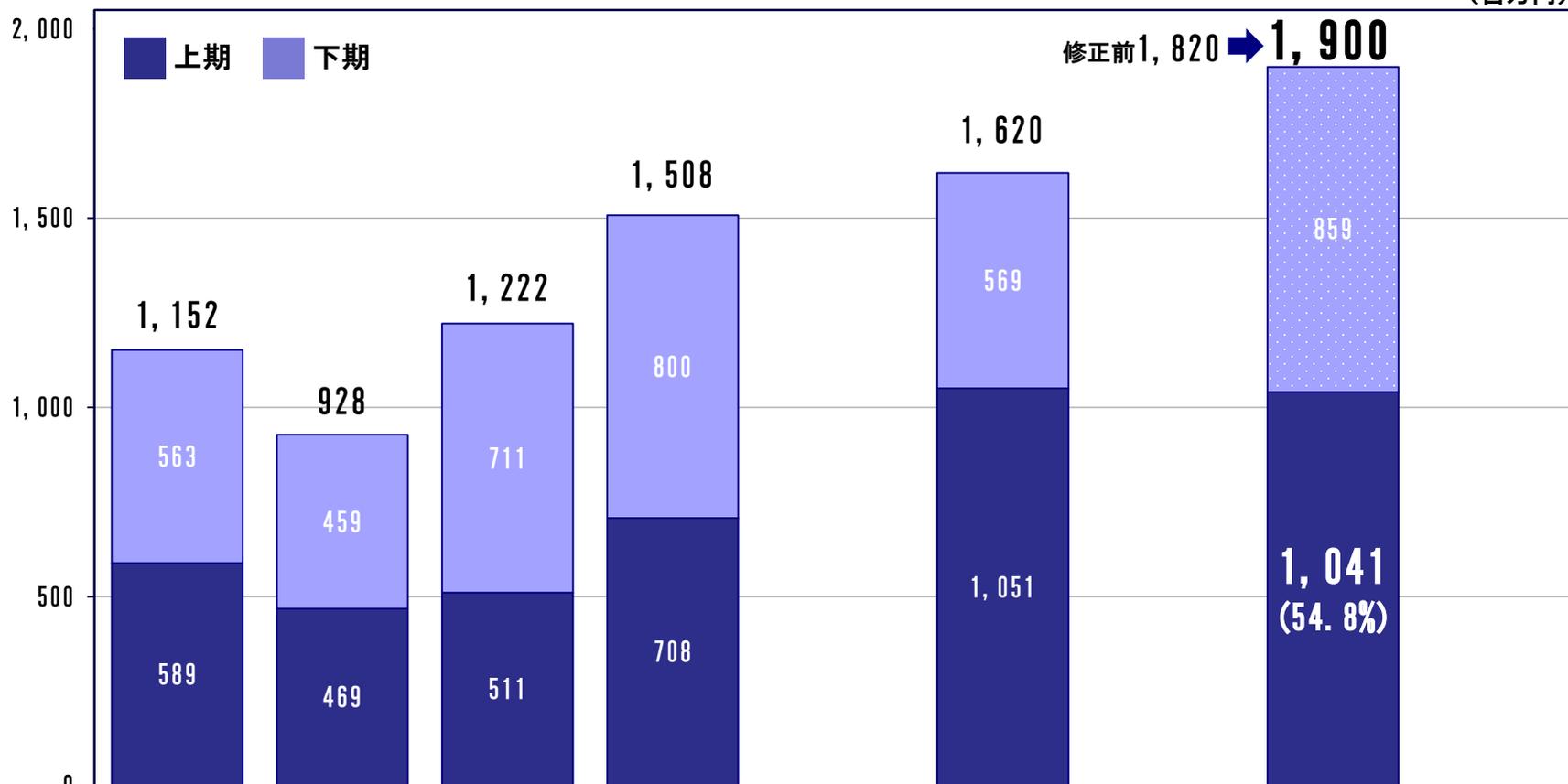


	期	H29/3				H30/3		H31/3		
		中計1年目	実績	中計2年目	計画	中計3年目				
連結	売上高	28,104	32,612	34,490	36,884	38,400	39,171	40,000	40,800	43,000
	前期比	+10.3%	+16.0%	+5.8%	+6.9%	-	+6.2%	-	+4.2%	-

# 連結業績推移

## ■ 営業利益

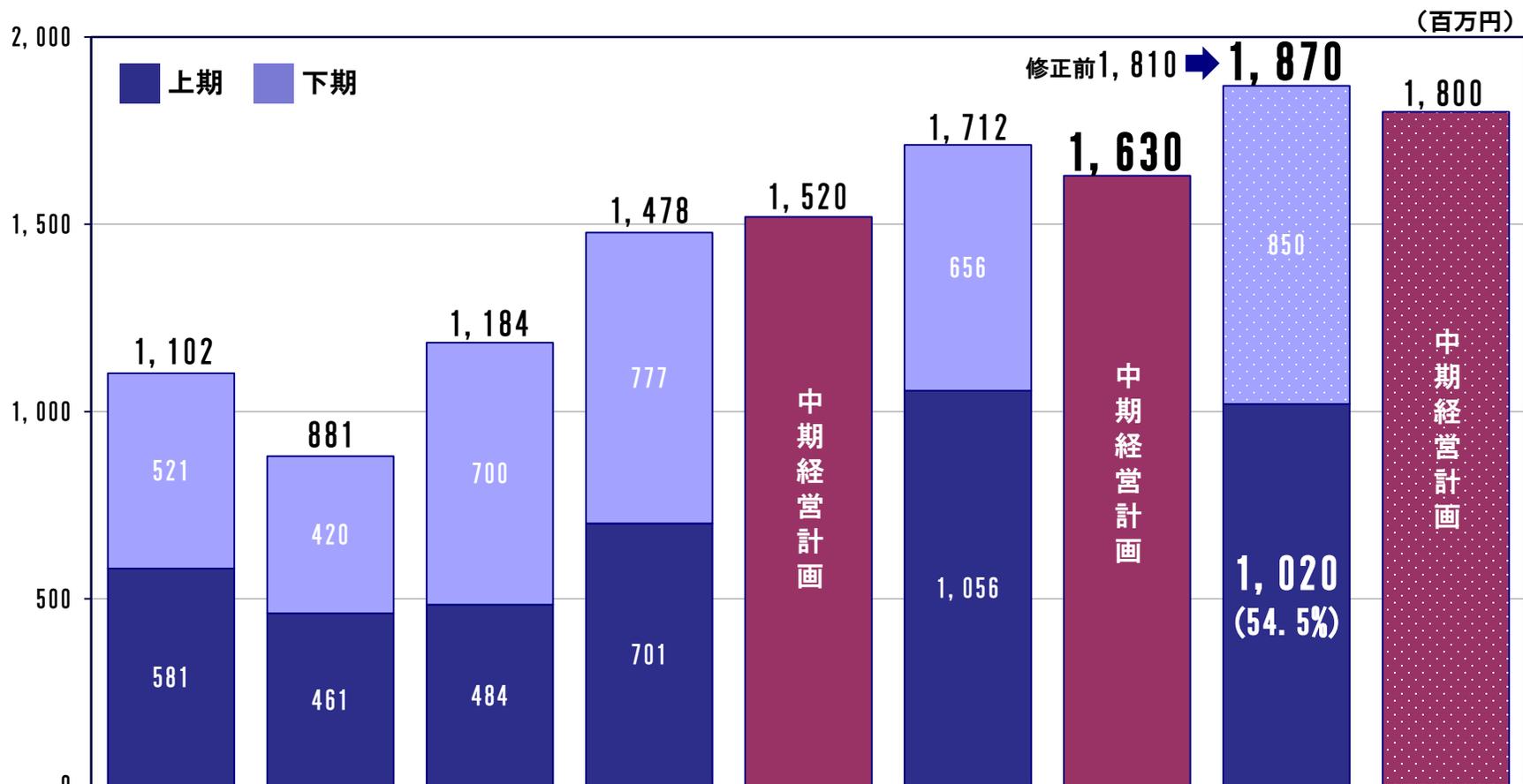
(百万円)



		H25/3	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3		H30/3		H31/3
						中計1年目	実績	中計2年目	計画	中計3年目
連結	営業利益	1,152	928	1,222	1,508	-	1,620	-	1,900	-
	前期比	△16.5%	△19.4%	+31.7%	+23.4%	-	+7.4%	-	+17.3%	-

# 連結業績推移

## ■ 経常利益

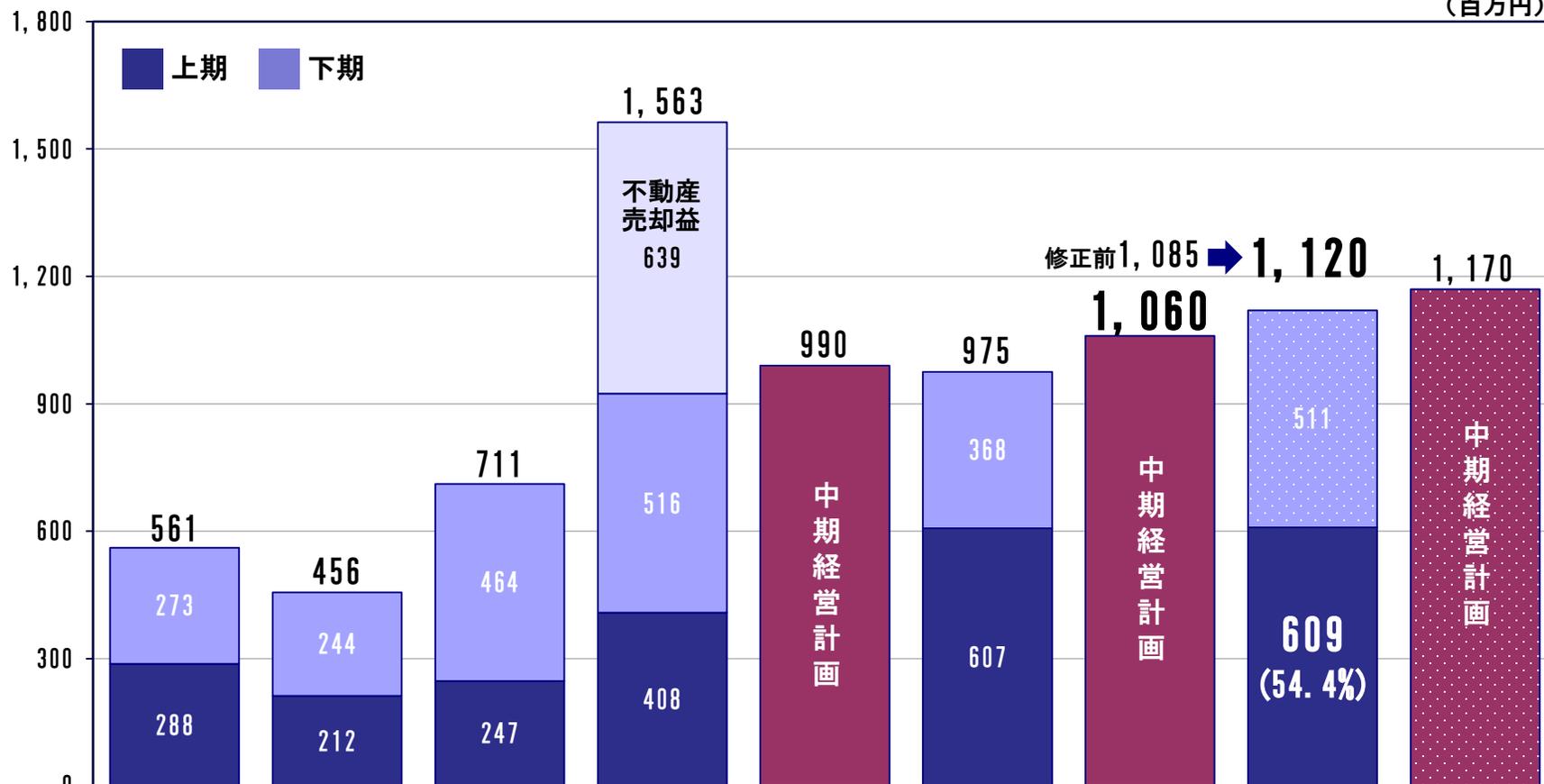


連結	項目	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3		H30/3		H31/3
						中計1年目	実績	中計2年目	計画	中計3年目
	経常利益	1,102	881	1,184	1,478	1,520	1,712	1,630	1,870	1,800
	前期比	△16.6%	△20.1%	+34.4%	+24.8%	-	+15.8%	-	+9.2%	-

# 連結業績推移

## ■ 当期純利益

(百万円)



連結	当期純利益	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3		H30/3		H31/3
						中計1年目	実績	中計2年目	計画	中計3年目
		561	456	711	1,563	990	975	1,060	1,120	1,170
	前期比	△15.1%	△18.7%	+55.9%	+119.8%	-	△37.6%	-	+14.9%	-

## ■ スローガン

『Breakthrough II』 — 現状を打破し、次のステージに突き進もう —

## ■ 基本方針

### 1. 収益目標の必達

- ① 全営業拠点の完全黒字化を達成する
- ② 労働生産性を高め、拠点毎の収益率改善を図る

### 2. 国内外の業容拡大

- ① 新規顧客、新規業務の獲得に成果を出す
- ② 国際物流の更なる拡大を図る（別添 11月7日付『日刊カーゴ』参照）
- ③ 積極的にM & Aを推進する

### 3. 管理業務の品質向上

- ① 交通事故と労災事故を前期比半減させる
- ② 管理部門のスリム化と事務処理の集中化を図る
- ③ ダイバーシティを推進する（多様な人材の確保と活用に取り組む）
- ④ 企業コンプライアンスを徹底する

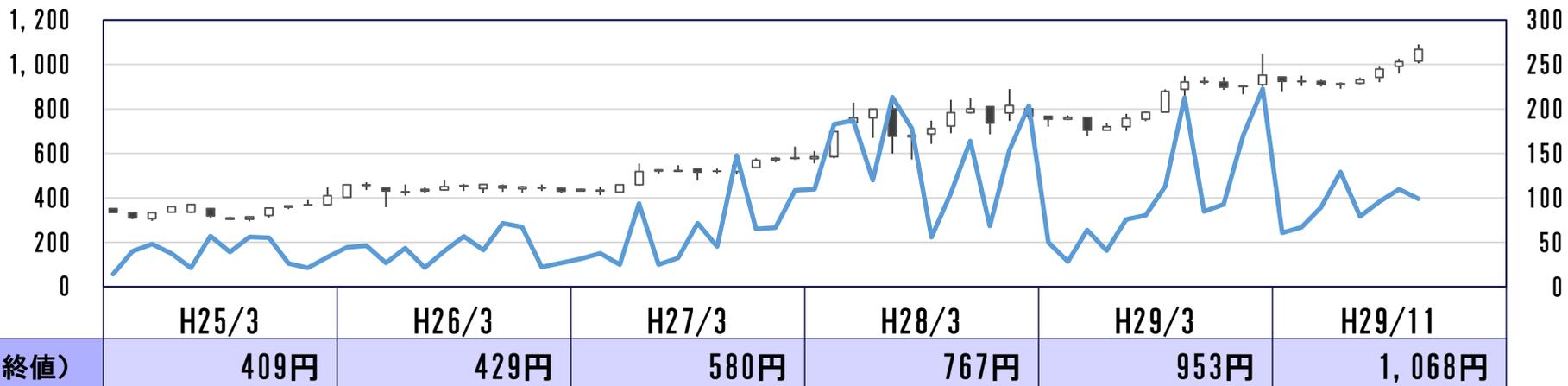
# 株 価 と 配 当 推 移

# 株価・配当推移

## ■ 出来高・株価推移

左軸：株価チャート（円）

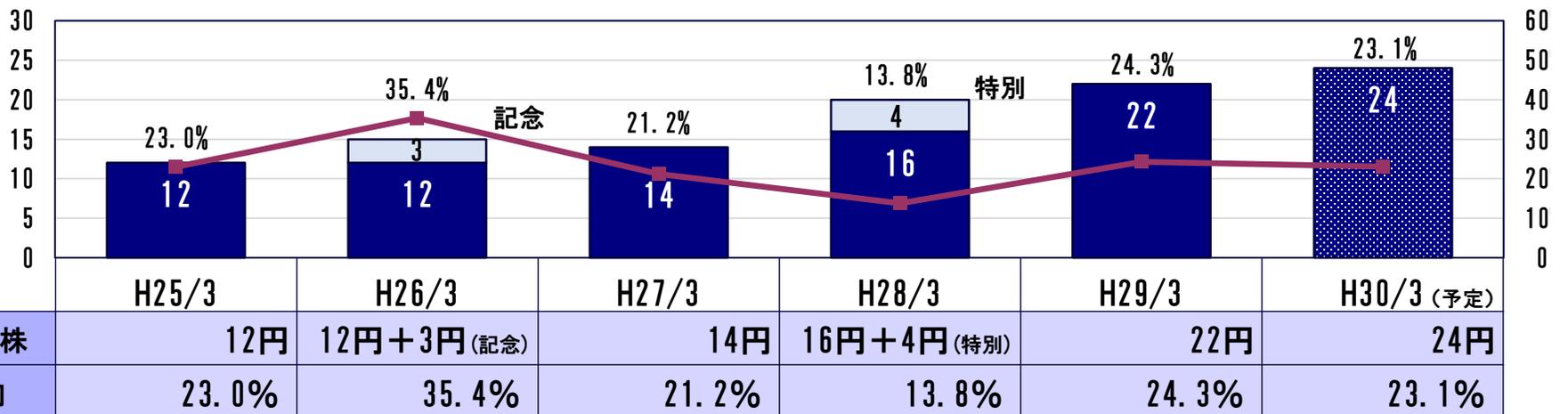
右軸：— 出来高（千株）



## ■ 配当・配当性向

左軸：1株あたり年間配当（円）

右軸：— 配当性向（%）

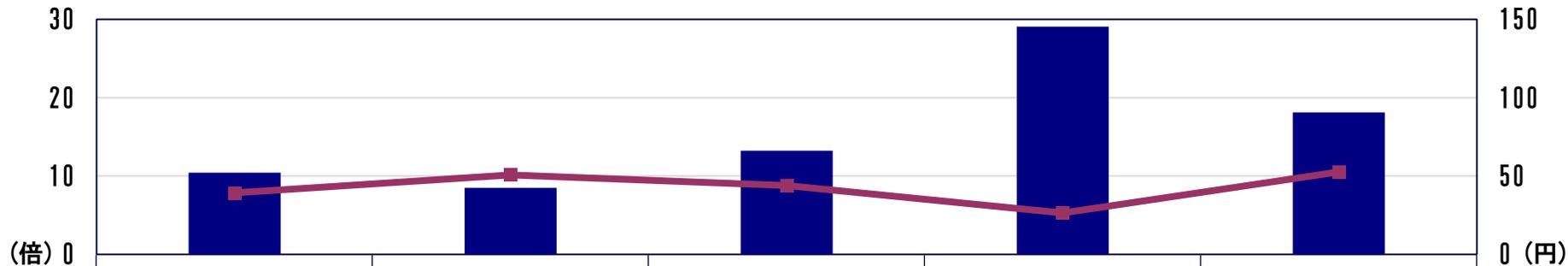


# 株価指標推移

## ■ PER・EPS

左軸： PER（株価収益率）

右軸： EPS（1株あたり純利益）

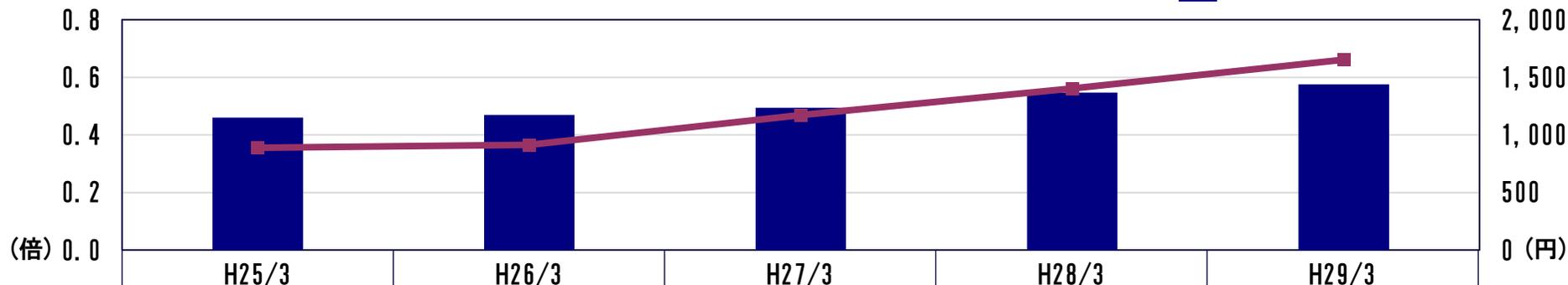


	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3
PER	7.8倍	10.1倍	8.8倍	5.3倍	10.5倍
EPS	52.19円	42.38円	66.11円	145.26円	90.63円

## ■ PBR・BPS

左軸： PBR（株価純資産倍率）

右軸： BPS（1株あたり純資産）



	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3
PBR	0.36倍	0.37倍	0.47倍	0.56倍	0.66倍
BPS	1150.30円	1174.20円	1235.50円	1366.80円	1440.20円

# 株主優待

## ■ 株主優待制度

保有株式数	株主優待
100株 以上	図書カード 1,000円分
500株 以上	図書カード 2,000円分
1,000株 以上	図書カード 3,000円分
2,000株 以上	図書カード 4,000円分
3,000株 以上	図書カード 5,000円分



## ■ 配当利回り

### 【配当利回り計算】

単元株100株を、株価1,068円で購入頂くと… ※2017年11月30日終値

(予定)  
配当2,400円、株主優待1,000円 ⇒ 実質配当金額3,400円 **配当利回り 3.2%**

## ■ 自己株式取得状況

平成29年9月末時点の自己株式は891,400株（総発行株式に占める割合：7.65%）となっております。

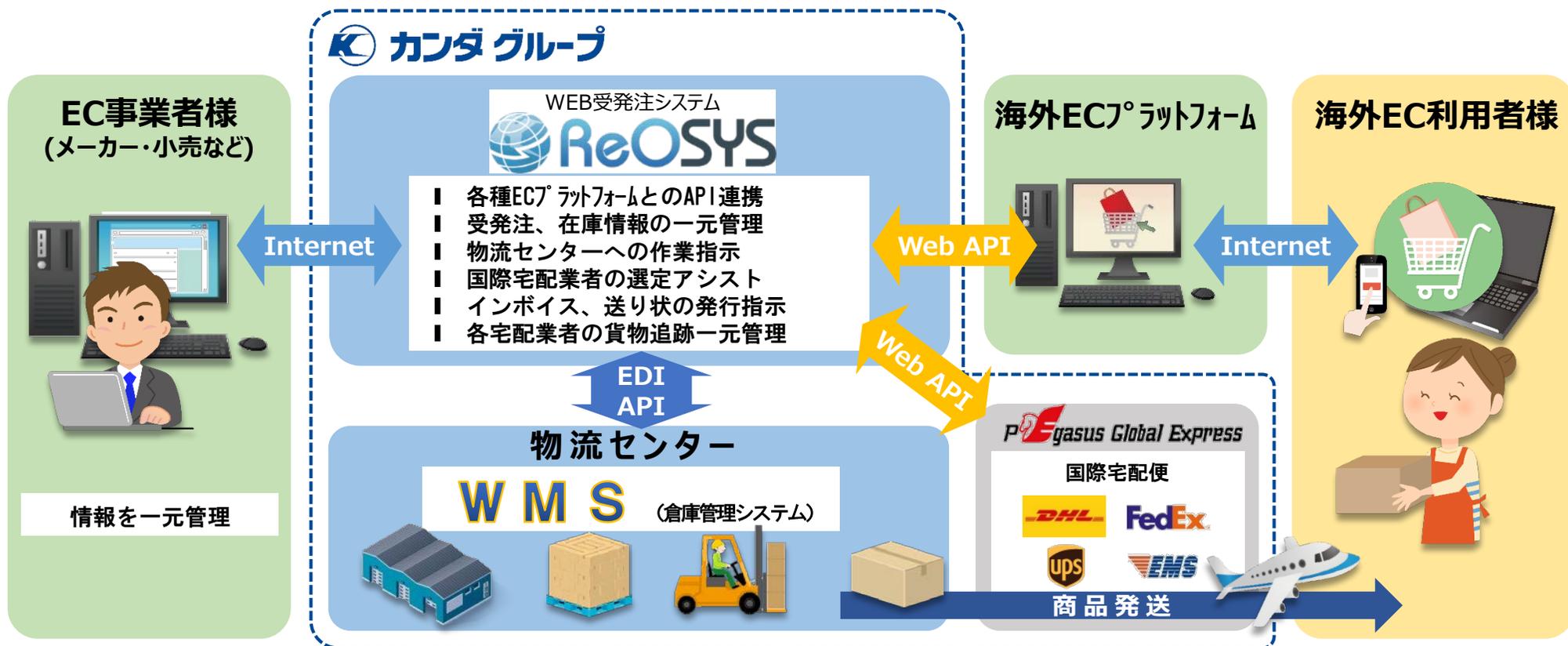
トピックス

# 越境 E C 向けデータ連携サービス

## ■ 海外進出を目指す国内事業者様に向けて越境 E C 一元管理システムを開発中

- ▶ 各種 E C プラットフォームと国内外のロジスティクスをシームレスに連携することで海外進出をサポート。
- ▶ サービス導入企業様は WEB 上で受発注/在庫/貨物追跡等の情報を一元管理することが可能となります。

【データ連携イメージ】



※上記の仕様は開発中のものであり、リリース時の機能を保証するものではありません。

# 新本社ビル建設

## ■ 当社発祥の地である神田地区に本社ビルを建設いたします。

- ▶ 耐震性能の劣化で解体した旧社屋の跡地に、営業及び事務の効率化、人材採用面を考慮して、平成31年2月末竣工（免震構造）に向けて本年10月に着工いたしました。
- ▶ 新社屋は環境に配慮した設計で、低炭素建築物助成制度（省エネルギー35%以上）適用の建築物となっており、千代田区内では初の申請となります。

【完成予想パース】 平成31年2月末竣工予定



【地図】

所在地 東京都千代田区三崎町3丁目2番4号



# 事業所内保育施設

## ■ 「ラビット保育園」の開園

- ▶ 平成29年8月より岩槻物流センター1号棟に事業所内保育施設である「ラビット保育園」を開園いたしました。
- ▶ これは当社の経営方針の一つである「働きやすい職場づくり」を目指して取り組んだもので、事業所内の施設でお子様を預かることにより、従業員の方々が安心して働ける環境を作りました。
- ▶ 現在では最大定員数である19名のお子様をお預かりしています。



名称	ラビット保育園
設置場所	岩槻物流センター1号棟 事務棟2階
委託先	株式会社キッズコーポレーション
対象	0歳児から5歳児まで (最大定員数19名)
開園曜日	月～土(祝日を含む)
保育時間	8時30分から19時30分(延長最大21時30分まで)
開園日	平成29年8月1日

※ 平成30年2月末に竣工を予定している「加須豊野台物流センター」にも保育園の設置を計画しております。

# 安全と品質への取り組み

## ■安全への取り組み

- ▶ 運行管理者・セーフティーアドバイザーなどへの各種研修会を開催しています。
- ▶ 技術教育訓練学校（自社保有）を活用した乗務員への実技指導を実施しています。
- ▶ 事故撲滅対策委員会による営業所の巡回と巡察パトロール指導を実施しています。



## ■品質改善活動

- ▶ カンダグループでは、1995年より「ダッシュ21」と呼ぶQC活動を、全職場・全従業員参加を基本として22年間に渡り継続して実施しています。
- ▶ 各職場での成果発表に加え、その年の優秀サークルを各職場より選抜し、毎年開催される中央発表大会の場を通じて、グループ内の相互啓発に寄与しています。
- ▶ 本年度も10月より第23回目の活動として206サークル、2,283名の従業員が、作業品質改善や生産性向上などのテーマに沿って活動に取り組んでいます。



当資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等の記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。



お問合せ先：カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話 03-6327-1811 (代) FAX 03-6327-1800

ホームページ： <http://www.kanda-web.co.jp/>

e-mail： [hd-soumu@kanda-web.co.jp](mailto:hd-soumu@kanda-web.co.jp)